

経営比較分析表（平成29年度決算）

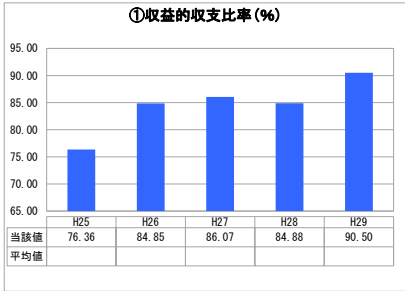
群馬県 みなかみ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	36.72	85.78	2,592

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,447	781.08	24.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,075	3.54	1,998.59

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



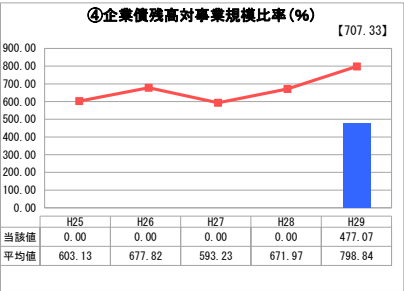
「単年度の収支」



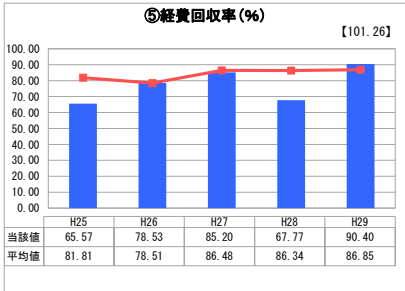
「累積欠損」



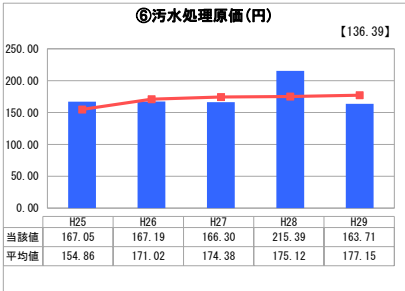
「支払能力」



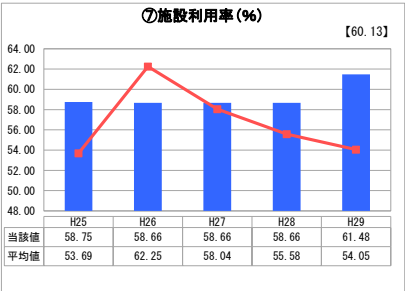
「債務残高」



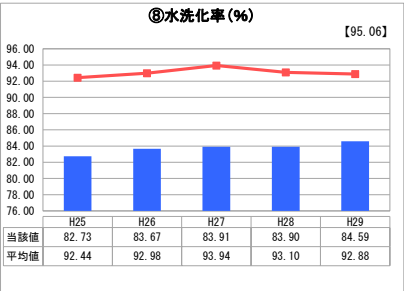
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

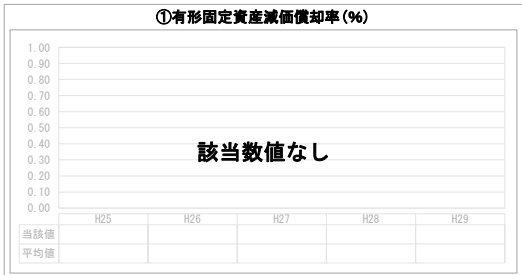


「施設の効率性」

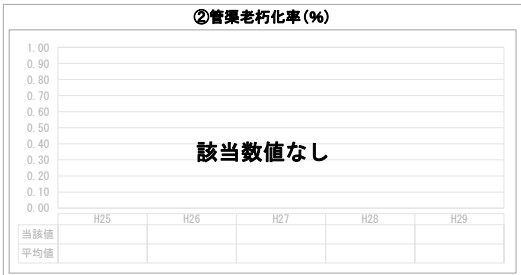


「使用料対象の捕捉」

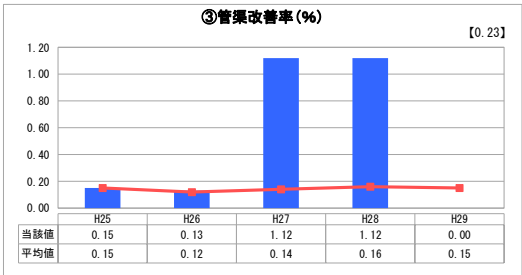
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

単年度収支は赤字であった。平成26年度及び平成27年度に料金改定を行いました。現状では人口減少や利用者の節水意識の高まりもあり、見込みより料金収入の増加がなかった。今後の料金滞納の圧縮や未接続の戸別訪問やPR活動をおこない、少しでも料金収入が増えるよう努めていきたい。今後は下水道台帳の電子化と資産台帳の整備を行うとともに経営戦略を策定し、下水道事業の経営に健全化及び効率化に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

施設の老朽化については、町内には供用開始から30年以上経過した管や施設もあることから施設の老朽化のスピードに改修が追いついていないのが現状です。なお、今年度は高日向地区にある主要幹線をライニング方式による管渠更正工事を実施しました。施設の耐用年数で改修が行えるなど計画的に改修が出来るようにすることが今後の課題です。

全体総括

みなかみ町の人口は急激に減少しており、年間400人前後の人口減少が続いています。このことは節水意識の高まりと人口減少の二つの要素から料金収入の頭打ちの主要な原因と考えられます。少しでも料金収入を増やすため、下水道の未接続の解消と料金滞納の圧縮に努めていきます。また、施設の維持管理は効率的におこない、事業に優先順位を付けた中期・長期的な計画を立て実施するなど、起債残高の圧縮に努め、経営の健全化及び効率化を推進していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。